

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日																													
月① 0歳児クラスの保育教室 工藤佳代子(東京家政大学ナースリーラーム)	火① 2歳児クラスの保育教室 今井和子(立教女子学院大元教授)	水① 1歳児クラスの保育教室 芦澤清音(帝京大学教授)	木① 3歳児クラスの保育教室 佐藤佳代子(蒲田保育専門学校顧問)	金① 4歳児クラスの保育教室 師岡章(白梅学園大学教授)																													
生まれて間もない赤ちゃんの保育には体のこと、心のこと、栄養のことなど様々な専門知識が必要です。「一人ひとりの子どもがその子のペースでおおさくなっていくこと」が大切にされる保育の実践について学びましょう。	自我にめざめ自分の「つもり」と「思い通りにならない現実」のズレに崩壊し、搖れ動きながらも信頼できる大人を支えに、自己肯定感の土台が築かれていく時期。また、夢中で遊び自分らしさを育んでいく最も重要な時を保育できる喜びをつかみましょう。	保育の方法、食育、睡眠、排泄、記録と計画、遊びと環境、おもちゃや病気、ことばを育てる、友だちへの関心等、赤ちゃんから自己主張する子どもへと成長していく1歳児保育の基本理論と実践を事例にそって学びましょう。	友だちとの関わりがより積極的になり、「他」の概念の確立が進み、社会性が広がっていく時期です。「じぶんができる」ことを実感してくる3歳児。一人ひとりの個性を育てて活かす保育の援助を学びます。	特徴がつかみにくいと言われる4歳児保育のあり方と一緒に考えてみませんか。「甘やかす」わけでもなく、「伸び伸び」させるのでもない、4歳児にふさわしい実践を見つけていきましょう。																													
6/1 0歳児と大人の関係・心地よい生活 —保育者との信頼関係を築く・愛着関係— 工藤佳代子(東京家政大学ナースリーラーム)	6/8 2歳児の心と体(運動)の育ち、その特徴 —2歳児との繋りをVPOや記録で記録に語り合う。特に運動発達が危くなっている今の子どもたちに求められる全身運動力と協働について。 工藤佳代子(東京家政大学ナースリーラーム)	6/15 0歳児の遊びと環境 —豊かな遊びを保障する環境・遊びの工夫— 堀 科(東京家政大学教授)	6/29 0歳児の発達の特徴と保育 —人ひとりひとりの育ちをどう受けとめていくか— 加古結子(小児科医)	6/1 0歳児の健康・病気 —病気の診かたと対応— 中原初美(理容室士)	6/11 0歳児の食生活と食文化 —実際の事例から学ぶ0歳児の食育— 工藤佳代子(東京家政大学ナースリーラーム)	6/17 0歳児の健康・病気 —病気の診かたと対応— 堀 科(東京家政大学教授)	6/23 0歳児の食の発達と食文化 —実際の事例から学ぶ0歳児の食育— 工藤佳代子(東京家政大学ナースリーラーム)	6/27 0歳児の発達の特徴と保育 —人ひとりひとりの育ちをどう受けとめていくか— 加古結子(小児科医)	6/30 0歳児の健康・病気 —病気の診かたと対応— 中原初美(理容室士)	6/12 0歳児の生活と養護・保育と教育 —0歳児保育の中の教育とは何か— 井桁容子(東京家政大学准教授)	6/12 0歳児の一日の生活と記録 —記録をどのように形作るか— 堀 科(東京家政大学准教授)	6/12 0歳児の絵本とわらべうた —0歳児と楽しめる絵本の選び方やわらべうた— 金澤和子(子育て支援研究者)	6/14 進級にむけて —1年のまとめとふりかえり— 工藤佳代子(東京家政大学ナースリーラーム)	6/8 2歳児の心と体(運動)の育ち、その特徴 —2歳児との繋りをVPOや記録で記録に語り合う。特に運動発達が危くなっている今の子どもたちに求められる全身運動力と協働について。 工藤佳代子(東京家政大学ナースリーラーム)	6/13 保護者と共にすすめる生活習慣の自立に向けて —日頃からの保護者との信頼関係をどのように築きながら生活リズム、食事、排泄などの自立を促していくか。また、子育て支援による連絡帳の書き方、懇談会や個人面談の進め方など。 堀 科(東京家政大学教授)	6/17 0歳児の遊びと環境 —豊かな遊びを保障する環境・遊びの工夫— 加古結子(小児科医)	6/27 0歳児の健康・病気 —病気の診かたと対応— 中原初美(理容室士)	6/27 0歳児の発達の特徴と保育 —人ひとりひとりの育ちをどう受けとめていくか— 加古結子(小児科医)	6/27 0歳児の健康・病気 —病気の診かたと対応— 中原初美(理容室士)	6/27 0歳児の生活と養護・保育と教育 —0歳児保育の中の教育とは何か— 井桁容子(東京家政大学准教授)	6/27 0歳児の一日の生活と記録 —記録をどのように形作るか— 堀 科(東京家政大学准教授)	6/27 0歳児の絵本とわらべうた —0歳児と楽しめる絵本の選び方やわらべうた— 金澤和子(子育て支援研究者)	6/27 進級にむけて —1年のまとめとふりかえり— 工藤佳代子(東京家政大学ナースリーラーム)	6/8 2歳児の心と体(運動)の育ち、その特徴 —2歳児との繋りをVPOや記録で記録に語り合う。特に運動発達が危くなっている今の子どもたちに求められる全身運動力と協働について。 工藤佳代子(東京家政大学ナースリーラーム)	6/13 保護者と共にすすめる生活習慣の自立に向けて —日頃からの保護者との信頼関係をどのように築きながら生活リズム、食事、排泄などの自立を促していくか。また、子育て支援による連絡帳の書き方、懇談会や個人面談の進め方など。 堀 科(東京家政大学教授)	6/17 0歳児の遊びと環境 —豊かな遊びを保障する環境・遊びの工夫— 加古結子(小児科医)	6/27 0歳児の健康・病気 —病気の診かたと対応— 中原初美(理容室士)	6/27 0歳児の発達の特徴と保育 —人ひとりひとりの育ちをどう受けとめていくか— 加古結子(小児科医)	6/27 0歳児の健康・病気 —病気の診かたと対応— 中原初美(理容室士)	6/27 0歳児の生活と養護・保育と教育 —0歳児保育の中の教育とは何か— 井桁容子(東京家政大学准教授)	6/27 0歳児の一日の生活と記録 —記録をどのように形作るか— 堀 科(東京家政大学准教授)	6/27 0歳児の絵本とわらべうた —0歳児と楽しめる絵本の選び方やわらべうた— 金澤和子(子育て支援研究者)	6/27 進級にむけて —1年のまとめとふりかえり— 工藤佳代子(東京家政大学ナースリーラーム)
月② 保育を支える思想と哲学 加藤繁美(東京家政大学教授)	火② おはなしとわらべうたの教室 藤田浩子(語り手)	水② 汐見稔幸保育教室 汐見稔幸(東京大学名誉教授)	木② 5歳児クラスの保育教室 島本一男(八王子講習保育園園長)	金② 加藤繁美保育教室 加藤繁美(東京家政大学教授)																													
「子どもの権利条約」採択30年が過ぎ、この時代が求める保育思想と保育哲学を、根本から問い合わせます。発達と教育の関係、自由と管束の関係、個性化と社会化の関係といった保育の「難題」を根本から問い合わせます。	6/23~7/7・7/28~9/1・9/15~10/20~11/10~12/1~1/12/22	6/17~7/15~9/16~10/14~11/18~12/16~1/20~2/17	5歳児の保育は、仲間とともに育つクラス作りが大きなねらいになります。子どもが育つ保育の本質を学び、子ども理解と保育のプロセス評価、仲間との語り合いを通して子どもの最善の利益をめざした主体的・対話的でより深い学びが出来る保育環境への思考を広げていきます。	子どもを育てるということは、子どもの中に、生きる「喜び」と「希望」を育てることを意味しています。不確実性と、優ゆさで彩られる正解不在のこの時代に、子どもを育てる喜びと希望の姿を考えてみたいと思います。																													
6/29 すべての人の命を繋ぐ民主的保育実践—幸せの起源となる「保育」の可能性を歴史的な視点から読み解く 信頼の中間共同体—保育の場を、人ひとの「やつてみよう」が集まる拠点としてとらえなおす	8/3 1歳児の育ち —おひぎにのせて、みんなと一緒に、お友達同士で出来る遊び。とにかく参加者全員で遊んで、楽しみ、覚えていく教室です。藤田浩子先生の語りからも学びましょう。この教室で学んだことを子ども達や保護者、地域に伝えてください。たっぷり学んだあとは早く子ども達に会いたい!と思える教室です。	6/11 1歳児の遊びと環境 —多言語、従属文の発生、第二質問期、対話を促す保育者の役割。友だちへの関心が「育ち」いっしょといいな」という体験やトラブルなど。事例を通して社会性の育ちを学び合う。	6/21 1歳児の食とその周辺 —「楽しむ食べる」の基礎を作る	6/26 課題としての対話的保育カリキュラム																													
8/3 1歳児の一日の生活と記録 —記録をどのように形作るか—	6/11 1歳児の遊びと環境 —多言語、従属文の発生、第二質問期、対話を促す保育者の役割。友だちへの関心が「育ち」いっしょといいな」という体験やトラブルなど。事例を通して社会性の育ちを学び合う。	6/11 1歳児の絵本とおはなし —絵本の楽しみ方、おはなしの語り方—	7/31 心の育ちと対話する保育実践の課題と展望																														
8/31 変化の時代の保育思想と保育哲学	6/11 1歳児の遊びと環境 —多言語、従属文の発生、第二質問期、対話を促す保育者の役割。友だちへの関心が「育ち」いっしょといいな」という体験やトラブルなど。事例を通して社会性の育ちを学び合う。	6/11 1歳児の絵本とおはなし —絵本の楽しみ方、おはなしの語り方—	9/11 子どもとつくる「幼児前期」の保育実践																														
10/5 その子らしい学びを全力で支えるのが保育 世界の動向から日本の保育を考える	6/11 1歳児の遊びと環境 —多言語、従属文の発生、第二質問期、対話を促す保育者の役割。友だちへの関心が「育ち」いっしょといいな」という体験やトラブルなど。事例を通して社会性の育ちを学び合う。	6/11 1歳児の絵本とおはなし —絵本の楽しみ方、おはなしの語り方—	10/30 子どもとつくる「乳児」の保育実践																														
11/9 保育と発達と主体性—「発達」と「主体性」を子どもに求める前に「保育」は何をめざす宮みかを考える	6/11 1歳児の遊びと環境 —多言語、従属文の発生、第二質問期、対話を促す保育者の役割。友だちへの関心が「育ち」いっしょといいな」という体験やトラブルなど。事例を通して社会性の育ちを学び合う。	6/11 1歳児の絵本とおはなし —絵本の楽しみ方、おはなしの語り方—	11/27 子どもとつくる「幼児中期」の保育実践																														
12/7 保育実践の未来を拓く「対話」の思想	6/11 1歳児の遊びと環境 —多言語、従属文の発生、第二質問期、対話を促す保育者の役割。友だちへの関心が「育ち」いっしょといいな」という体験やトラブルなど。事例を通して社会性の育ちを学び合う。	6/11 1歳児の絵本とおはなし —絵本の楽しみ方、おはなしの語り方—	12/18 子どもとつくる「幼児後期」の保育実践																														
月③ 保育の中の子どもの権利	火③ 保育カリキュラムを問い合わせ	水③ 翁長・主任とチーム保育の実践教室 今井和子(立教女子学院大元教授)	木③ 表現と人間 汐見稔幸(東京大学名誉教授)	金③ 表現と人間 汐見稔幸(東京大学名誉教授)																													
日々の保育を「子どもの権利」というキーワードで振り返ってみませんか。子どもたちの全ての活動が子どもの最善の利益を守ることに繋がっているか…保育に携わる人たちだからこそ、考え、学んでいく必要があるのではと考えます。私たちの保育から子どもたちが育っていく明るい社会・未来を展望しましょう。	6/9~6/23~7/7~7/28~9/1~9/15~10/20~11/10~12/1~1/12/22	昔むかしから伝えられてきた「わらべうた」、保育者が伝えあってきた「遊び歌」、紙1枚・えんぴつ1本で出来る工作…。おひぎにのせて、みんなと一緒に、お友達同士で出来る遊び。とにかく参加者全員で遊んで、楽しみ、覚えていく教室です。藤田浩子先生の語りからも学びましょう。この教室で学んだことを子ども達や保護者、地域に伝えてください。たっぷり学んだあとは早く子ども達に会いたい!と思える教室です。	5歳児の保育は、仲間とともに育つクラス作りが大きなねらいになります。子どもが育つ保育の本質を学び、子ども理解と保育のプロセス評価、仲間との語り合いを通して子どもの最善の利益をめざした主体的・対話的でより深い学びが出来る保育環境への思考を広げていきます。	保育の中の「表現」とは「表現」が入っているのでしょうか。そこには表現という行為に対する深い人間学的な洞察があります。表現という行為の中の人間の個性が表れます。そして人間は他者に様々な表現することを通じて他者との関係をつくり、自分の人生をつくっています。子どもの一挙手一投足がその子の表現なのだと感じた瞬間から保育が変わります。																													
9/14 子どもの思いを聞く・子どもが語るを保障する保育 子どもの声を大事にするってどういうことだろう	9/1 「評価」からカリキュラムを考える(1) —評価は何のためにやるのか—	9/1 「評価」からカリキュラムを考える(2) —自分の学びを自分で評価できる子が最終目標—	9/9 チーム力で質の高い保育をめざす—チーム力とは?学び合うチームを育んでいくリーダーの役割、同僚性を基盤にした関係性の構築—	6/5 なぜ表現がテーマになるのか																													
9/28 子どもの健やかな育ちのために忘れてはいけないこと 遊びの権利、体の権利、文化や芸術に親しみ権利	9/29 「評価」からカリキュラムを考える(2) —自分の学びを自分で評価できる子が最終目標—	10/14 保育の喜び、仕事の楽しさをどう見つけ出し、支え合うか—発達の理解、子どもを否定的に捉えない理解の共化。指導計画や記録の点検と援助	7/31 心の育ちと対話する保育実践の課題と展望																														
10/19 子どもを大切にする社会とは もう一度確かめたい子どもの最善の利益	11/24 保育カリキュラムの全体構造 —保育に関する様々な「計画」を整理する—	11/4 *どんなに忙しくても語り合おう—職員会議の活性化、楽しく学び合う園内研修をめざして、その実践的スキルをつかむ	9/11 子どもとつくる「幼児前期」の保育実践																														
11/16 人に優しい社会をつくるとは? 「ねえねえ」なるにを保障する子どもの権利から考える	12/1 カリキュラム・マネジメントの本質 —「PDCAサイクル」を見直す—	10/17 行事の考え方と伝え方 —人間関係のひろがりと協同する保育とは—	10/30 子どもとつくる「乳児」の保育実践																														
12/14 コロナ禍の子どもの権利	12/14 コロナ禍の子どもの権利	10/18 人が好きになるコミュニケーション力を考える —5歳児のコミュニケーション力と言葉—	11/27 子どもとつくる「幼児中期」の保育実践																														
月④ 発達と支援を考える教室 橋場 隆(臨床発達心理士スーパーバイザー)	火④ 子どもたちとつくるインクルーシブ保育	水④ 映像から読み解く保育のまなざし	木④ 新しい赤ちゃん像と保育実践を学ぶ教室	金④ 絵本の持つ力																													
保育の中で困った、どうしたらしいんだろう…といった発達と関連した悩みは年々増えています。発達・障がいの基本をおさえながら皆さんの悩みに応えていきます。	6/14 子どもの権利を聞く・子どもが語るを保障する保育 子どもの声を大事にするってどういうことだろう	6/14 遊びの中の学びを育む「見守る力」 —見守るために必要なことは何か—	6/5 改めて考える乳児保育の基本 —乳児の生活・養護と教育—	6/5 なぜ表現がテーマになるのか																													
9/14 困った行動の背景とその支援 —対応のポイントを具体的に考えてみます—	6/29 「評価」からカリキュラムを考える(2) —自分の学びを自分で評価できる子が最終目標—	6/14 保育の喜び、仕事の楽しさをどう見つけ出し、支え合うか—発達の理解、子どもを否定的に捉えない理解の共化。指導計画や記録の点検と援助	7/31 心の育ちと対話する保育実践の課題と展望																														
11/30 保護者対応、保育士の役割を考える —子どもの最善の利益を考える—	7/8 自らの保育観・保育スタイルを振り返る —子どもを見る力・語り合うことの重要性—	6/14 仲間との共感から広がる表現する喜びについて —主体的・対話的保育から子どもの素晴らしさを学ぶ—	9/11 子どもとつくる「乳児」の保育実践																														
月⑤ 「思い」からはじめる保育環境 佐藤将之(早稲田大学准教授)	11/17 一人ひとりの響き合いが命を輝かせる 多様な個性が創発するわくわく村の実践	6/14 保護者との連携・支援 —保護者への対応・連携と支援の実際—	10/30 子どもとつくる「幼児後期」の保育実践																														
思いつき遊びたい、集中して仕上げたい、お友達をみていい、ゆっくりしたい…子どもたちの思いを実現する環境を作るには?日常生活を振り返ることで見えてくる環境について考えます。子どもの思い・保育者の思いと環境をつなげていきましょう。	12/15 どんな子も幸せに生きるためにの視点 —「気になる」を幸せの出発点に	6/19 保護者の喜び・そして責任	11/29 子どもと喜びや楽しさを共有する																														
★第55期記念特別講座 新沢としひこ×井桁容子 ★第55期記念特別講座 今井和子×島本一男 ★たにぞうのあっぱれ運動会!(水) A・B ★若手保育者のための保育教室(水) 岸 健 ★特別演習 研究的実践家養成ゼミナール(月) 加藤繁美 ★土曜ゼミ 「気になる子」と言わない保育 赤木和重 ★自主研究(片岡輝)ゼミ 裏面参照	10/7 「丁寧な保育=発達を保障する保育」 —すべての人たちに「丁寧に関わる」の身軽を具体的に	6/14 保護者の喜び・そして責任	12/4 手袋1枚で作る抱き人形																														
10/19 「とりえずやってみる」環境 困っていることが環境を変えるチャンス	11/4 保護者と育児の喜びを共有するプロセス評価 —同僚性を保育者まで広げて考えてみる	6/14 保護者の喜び・そして責任	10/16 手袋1枚で作る抱き人形																														
11/16 子どものやりたいを応援する環境 子ども主体でワクワク・ドキドキ	11/25 日々の保育と世界が繋がるSDGs 保育におけるアプローチ	6/14 保護者の喜び・そして責任	11/27 手袋1枚で作る抱き人形																														
12/21 「じっくり考え、変えていく」環境 保育者も、地域も、子どもも笑顔になれる環境を考える	12/9 遊びや学びを深め語り合う園文化とは 保育の質を支える人材育成について考えよう	6/14 保護者の喜び・そして責任	12/27 手袋1枚で作る抱き人形																														